

○信越総合通信局長表彰

「電波の日」(2個人、1団体)

(敬称略)

受賞者名	事績の概要
<small>やなぎさわ としひこ</small> 柳澤 俊彦 (前長野県電波適正利用推進員協議会会長)	長野県電波適正利用推進員協議会会長として、混信妨害等に関する解決策のアドバイスや不法無線局の開設情報、不法無線設備の販売店情報の提供等の協議会活動に率先して取り組み、電波利用環境の向上に多大な貢献をされました。
<small>わかみや ゆうすけ</small> 脇屋 雄介 (一般社団法人日本コミュニティ放送協会 信越地区協議会会長) (前新潟県電波適正利用推進員協議会会長)	長期にわたり、一般社団法人日本コミュニティ放送協会の役員を歴任し、災害時におけるコミュニティ放送局の果たす役割を認識して全国のコミュニティ放送事業者の先導役を果たされたほか、新潟県電波適正利用推進員協議会においては、平成9年の設立当初から会長として率先して活動に取り組み、電波利用環境の向上に多大な貢献をされました。
上越市 <small>むらやま ひでゆき</small> (市長 村山 秀幸)	地上テレビジョン放送のデジタル化において 柿崎区での受信障害解消のための中継局設置に際し敷地を提供されたほか、各総合事務所に「地デジ臨時相談所」を設置して相談対応されるとともに、新潟県内で最も多い難視聴地区や他地域から混信のある地域の受信改善に支援制度を設けて積極的に取り組まれるなど、電波利用の普及促進に多大な貢献をされました。

「情報通信月間」(2団体)

(敬称略)

受賞者名	事績の概要
長野市 <small>わしざわ しょういち</small> (市長 鷺澤 正一)	地上テレビジョン放送のデジタル化において、長野県内で最も多い難視聴地区の受信改善のため精力的・能動的な地元調整をされ、新たな共聴施設の設置支援等を通じて解消を図るとともに、CATV設備を設置するにあたっては対象地区の多くで超高速ブロードバンドサービスを利用可能とするなど、地域の情報通信の利用環境の向上に多大な貢献をされました。

<p>伊那ケーブルテレビジョン株式会社</p> <p>(代表取締役社長 <small>むかいやま きみと</small> 向山 公人)</p>	<p>地上テレビジョン放送のデジタル化にあたり、STBの無料レンタルサービスや幹線拡張等を通じて伊那市内の新たな難視聴の解消に貢献するとともに、ソフト面においても「地方の時代」映像祭において映像コンテンツ作品が3年連続で入賞されるなど、地域に密着した優秀な番組を制作し、地域における情報通信の普及促進に多大な貢献をされました。</p>
--	---

○信越総合通信局長感謝状 (1個人、1団体)

(敬称略)

被贈呈者名	事績の概要
<p><small>とがし ひさお</small> 富樫 久夫</p> <p>(新潟工科専門学校 電気・ものづくり系統括科長)</p>	<p>新潟工科専門学校において、若い世代を中心とした工事担任者養成の重要性を理解し、電気通信事業法にもとづく養成課程の責任者としてこれを9年間運営するとともに、自らも指導に携わり、延べ223人の有資格者を輩出し、地域における電気通信の基盤を支える人材育成に多大な貢献をされました。</p>
<p>長野県工業技術総合センター 精密・電子技術部門</p> <p>(長野県工業技術総合センター 所長 <small>たぐち むねはる</small> 田口 宗治)</p>	<p>永年にわたり、県内無線通信機器製造事業者に対する通信機器開発の技術支援や人材育成事業を実施するとともに、当局が開催した調査検討会や技術セミナーに積極的に協力し電波利用の普及促進に多大な貢献をされました。</p>